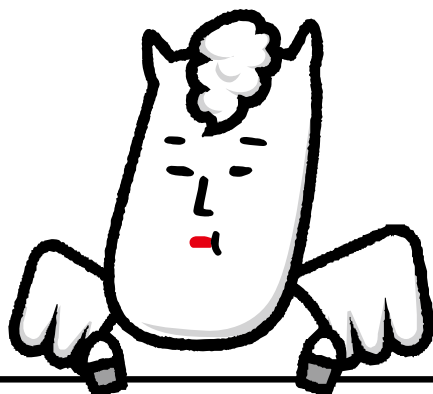


白馬村第5次総合計画・総合戦略評価



平成29年度(平成28年度実績)

VICTOIRE CHEVAL BLANC MURAO III

白馬村キャラクター ヴィクトワール・シュヴァルブラン・村男Ⅲ世

平成29年11月

資料1 白馬村第5次総合計画評価シート ページ 2/13~9/13

資料2 白馬村総合戦略評価シート ページ 10/13~13/13



白馬村第5次総合計画・総合戦略評価について

1. 評価の目的

総合計画、総合戦略の重要業績評価指標(KPI)を内部(役場)と外部(住民)がPDCAサイクルに基づき、事業進捗状況を確認するため、毎年度評価を実施します。

○白馬村第5次総合計画 21ページ 3. 総合計画の推進より

開かれた村政と住民参画の推進を村政運営の基本とします。計画期間中は、事業の達成度や時代潮流の変化を確認するために、計画が進捗しているかの検証を行うための組織の設置、コーディネーター役の配置、PDCAサイクル仕組みの構築などを行い、随時点検と見直しを行います。

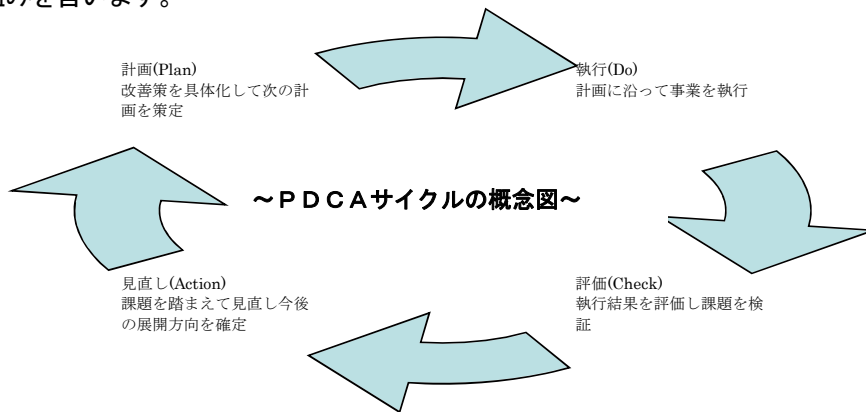
○白馬村総合戦略 31ページ (6)PDCAサイクルの確立

「まち・ひと・しごと創生」を実現するためには、PDCAサイクルを確立することが必要不可欠であり、重要業績評価指標(KPI)の設定により、効果の検証を行い、必要に応じ見直しを図ります。

○「PDCAサイクル」とは

事業の管理業務を円滑に進める手法の一つ。

Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する仕組みを言います。



2. 評価スケジュール

| 期日 | 区分 | 備考 |
|--------|---------------|-------------------|
| 7月上～下旬 | 担当課による内部評価 | 出納閉鎖期間終了後、評価コメント。 |
| 8月28日 | 第1回総合計画等評価委員会 | 委嘱(12名)、正副課長進め方確認 |
| 9～10月 | 委員による外部評価 | 5段階評定平均点及び評価コメント |
| 11月2日 | 第2回総合計画等評価委員会 | 評価とりまとめ |
| 11月16日 | 役場庁内情報共有 | 課長会議、庁内情報共有システム |
| 11月下旬 | ホームページ等により公表 | |

3. 評価シートの見方

| 区分 | 内容 |
|--------------|--------------------------------|
| 評価方法 | 総合計画、総合戦略の指標(KPI)に基づく内部評価、外部評価 |
| 内部評価 | 担当課による自己評価コメント |
| 外部評価 | 委員による5段階評定の平均点及び評価コメント |
| | 5 期待した成果 |
| | 4 概ね期待した成果 |
| | 3 半分程度の成果 |
| | 2 現時点では成果がみられない |
| 1 ほとんど進んでいない | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 現状 | H28 | H29 | H32 目標 | 内部評価コメント | 外部評価基準 | 外部評 価 | 外部評価委員コメント | | |
|--------------------------|------------------------------------|----------------------|---------------------|------------------|-------------|------------------------------|--|--|--|--|-------------------------------------|----------|---|---------------------------------|--|
| 暮らし安心して みんなが暮らせる 村 | 多様性を尊重し、住 民が主体的に共生・ 協働する村づくり | 住民参画と協働 | 行政区の主体的な取り組 みの支援 | 総務課 | 行政区加入率 | 52% | 52% | | 80% | 集落支援員と協力し世帯数・加入数の分母・分子の精査を行います。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 | 2.8 | ・行政区加入率が少しでも増やせるような方法を相談しながら考えて行く必要がある。 ・地区役員、集落支援員の更なる活用に期待する。 ・行政区加入の要因の調査。区加入による負担のあり方等、研究が必要と思われる。 ・現在、途上であり努力がつかえるので、今後に期待しています。 ・行政区加入に努力したい。 | | |
| | | | | 総務課・農政課 健康福祉課 | 集落支援員数 | 0 | 0 | 2 | 2 | 地区課題解決ため増員を図りたいが、勤務場所等の研究が必要で、特別交付税対象（350万）。青鬼地区では観光客とのトラブルの減少につながっています。 | 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | | | | |
| | | | 総務課 | 住民活動・NPO等の支援 | - | (後援) | - | - | - | イベント開催、ポスター作製等、方向性が合致するものについては後援しました。 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 開かれた行政運営 | 行政情報の発信 | 総務課 | 白馬村行政HP PV数 | 60,000 | 61,496 | | 70,000 | 見やすいHPに再構築します。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 | | | 3.3 | ・より迅速で分かり易い情報発信に心掛けてほしい。 ・意見交換の場として、地区懇談会だけでなく、幅広い広い年代層からの声を保護者会、シニアクラブなどからも訊いてほしいと望みます。 ・行政と地区との密接な交流に期待する。 |
| | | | | | 行政FB いいね！数 | - | 803 | | 1,000 | 毎月10件以上の投稿を目標として、速やかな情報発信に努めています。 | 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | | | | |
| | | | | | ユー・テレ白馬加入件数 | 1,906 | 1998 | | 2,100 | 指定管理者や番組審議会と連携し、番組の魅力向上に努め、加入率向上を図ります。 | | | | | |
| | | | 意見交換の場づくり | 総務課 | | - | (30地区) | - | - | 地区懇談会（30地区）等により地域の声を村政生かします。 | | | | | |
| | | 多様な人々の交流・ 共生 | 移住・定住の促進 | 総務課 | 人口 | 9,050 | 9,156 | | 9,000 | 官民協力し、村の魅力向上に努め人口維持、増を図ります。 | 5 期待した成果 | | | 3.5 | ・一見、人口減止めがかかっているように見えるが流動的な部分も多いと思うので、さらに定住に繋がるような施策を実施してほしい。 ・順調な結果であると言える。 ・上記2項目を含め、NPOを利用し村づくりを進めてはどうか。まかせられるものはまかせ職員は新しい方向性について考えてはどうか。 |
| | | | | | 人口の社会増数 | 111 | 170 | | 111 | 官民協力し、村の魅力向上に努め人口維持、増を図ります。 | 4 概ね期待した成果 | | | | |
| | 地域おこし協力隊員数 | | | | 0 | 5 | | 10 | 各課、業務内容研究し、定住に繋げるような工夫が必要です。特別交付税対象（400万）。 | 3 半分程度の成果 | | | | | |
| | 移住イベント出展回数 | | | | 0 | 1 | | 2 | 北アルプス広域との広域連携を含めて白馬村だけでなく、圏域への魅力を創出しています。 | 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | | | | | |
| | 多文化共生 | | 総務課 | 意見交換会開催回数 | 1 | 1 | | 2 | 年1回から、今後は定期的に開催するようにします。 | | | | | | |
| | 村外の白馬ファンの活用 | | 総務課 | ふるさと白馬応援し隊員数 | 50 | 65 | | 70 | メルマガ、その他媒体、イベント等を通じ隊員、白馬ファン増を図ります。 | | | | | | |
| | | | 隊員主催イベント回数 | 0 | 0 | | 1 | 今後においてイベントを開催します。 | | | | | | | |
| | 安心・安全の生活を 支える村づくり | 防災・減災の強化 | 健康福祉課 総務課 | 地域支え合い支援 | 支え合いマップ作成地区 | 17 | 17 | | 30 | 未策定の地区を対象に講習会を開催し、作成してもらうよう理解いただきます。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 | 2.8 | ・現段階では大きな成果はない。今後区長や村民に向けての啓蒙活動に努めてほしい。 ・防災訓練等の必要性重要性を感じ、自らが参加する機会が少なく残念に思います。訓練の時期・方法に工夫があれば、と考えます。 ・行政、村民との更なる協力を期待する。 ・防災訓練実施日の検討が必要。 | | |
| | | | | 総務課 | 防災・災害情報の伝達 | 防災アプリ構築 | 0 | 0 | | 1 | 行政デジタル無線更新と合わせてアプリを構築するよう、現在調査中です。 | | | 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | |
| | | | 総務課 | 消防団活動 | 消防団協力事業所数 | 6 | 6 | | 10 | 村内の事業所に、広報誌等を活用し告知します。 | | | | | |
| | | | 総務課 | 消防団員応援ショップ登録店舗数 | - | 7 | | 20 | 関係機関と協力し店舗数の増加に努めます。 | | | | | | |
| | | | 総務課 | 自主防災組織 | 自主防災組織設立地区数 | 26 | 26 | | 30 | 未設置の地区に区長会議等で周知します。 | | | | | |
| 総務課 | | | 村全体の防災への取り組み | 地震総合防災訓練等参加者数 | 120 | 98 | | 240 | 様々なメディアを用いて告知を行います。また、外国人に対しても趣旨と制度を説明します。 | | | | | | |
| 建設課 農政課 | | | 治山治水（国庫、県単関 係） | | - | (治山要 望6件) (治水砂 防要望3 | - | - | 治山工事（県）については、蔵平（山腹工0.1ha）・野平（谷止及び山腹工0.2ha）・西通（山腹工0.3ha）実施。引き続き豪雨による災害も発生することから、県に治山事業の働きかけを行います。 | | | | | | |
| 総務課 | | | もてなしの村づくり | - | (周知) | (アンケート) | - | - | マナー条例効果を検証し、官民で常にもてなし、快適な村づくりを図ります。29年度はマナー条例の検証を行います。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 | | | | | |
| 総務課 | | | 地域防犯力の向上 | 刑法犯非認知件数 | 79 | 74 | | 50 | 大北防犯協会連合会、大町警察署、白馬交番等関係機関と連携し、防犯対策を行い地域や家庭における防犯思想の普及を図ります。 | 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | | | | | |
| 総務課 | | | 交通安全の推進 | 交通事故発生件数 | 34 | 34 | | 25 | 大北防犯協会連合会、大町警察署、白馬交番等関係機関と連携し、防犯対策を行い地域や家庭における防犯思想の普及を図ります。 | | | | | | |
| 総務課 健康福祉課 観光課・教育課 | | 村内の移動手段の確保 | - | (公共交通会議) | - | - | - | 分野別に取り組むのではなく、総合的な交通政策が必要ですが、ニーズとコストバランスが課題です。公共交通会議において調整が必要です。 | | | | | | | |
| 建設課 | | 生活と観光と医療のための 道路整備 | インフラ長寿命化点検済施設数 | 12 | 23 | 90 | 113 | 長寿命化修繕計画の策定に着手しました。 | | | | | | | |
| 建設課 総務課 | | 安全な住宅の提供 | 村営住宅戸数 | 16 | 12 | | 34 | 適正な維持管理に努めます。 | | | | | | | |
| | | | 長寿命化が必要な村営住宅戸数 | 16 | 12 | | 0 | 現状把握に努め適正化に努めます。 | | | | | | | |
| 建設課 | まちづくりマスタープランによる 土地利用計画 | - | (打合) | - | - | - | 松糸道路・道の駅建設により路線が大きく変わるため、進捗を見定めて計画します。28年度は県と打合せを実施しました。 | | | | | | | | |
| 農政課 | 地籍調査の推進 | 地籍調査済面積（ha） | 765 | 8 | 20 | 848 | 地域からの要望に沿って、H29より調査実施地区の見直しを行い、事業を実施します。 | | | | | | | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 現状 | H28 | H29 | H32 目標 | 内部評価コメント | 外部評価基準 | 外部評 価 | 外部評価委員コメント |
|----------------|-------|----------------|-------------------|---------------|------------------|---------------------|-------------------------------------|---|--|------------------------------|--------------------------------|---|-------------------------------|
| 支え合う福祉と健康の村づくり | 子育て支援 | 安全な妊娠・出産への支援 | 健康福祉課 | 合計特殊出生率 | 1.19 | 0.87 | 1.30 | 大幅に出生率が低下。要因の分析とともに、定住促進・子育て支援等分野との連携を図り、出生率の向上を図ります。 | 5 | 期待した成果 | 3.9 | ・休日保育と児童クラブの利用者は着実に増えており、利用が減少しているなかよし広場や自由利用についてさらなる周知に努めてほしい。 ・更なる支援に期待する。 ・中分類の内容が多く、評価の判断ができない。 ・成果が出ている項目もあるが、合計出生率が下がっているのが残念。要努力。具体的優遇策を検討すべきではないか。 | |
| | | | | 妊婦基本健診受診率 | 97.1% | 97.5 | 100% | 流産の1名以外は全員の利用が図れています。 | 4 | 概ね期待した成果 | | | |
| | | | | 不妊治療費助成件数 | 4 | 8 | 4 | 利用者数は増加している。不育症へ活用ができるよう制度の拡大が必要です。 | 3 | 半分程度の成果 | | | |
| | | | 健康福祉課 住民課 | 平日夜間救急医療事業箇所数 | 1 | 1 | 1 | 大北医師会の協力により、週6日稼働。利用の活用を図るため、より一層の周知が必要です。 | 2 | 現時点では成果がみられない | | | |
| | | | | 大北圏域産科医数 | 1 | 1 | 1 | 市立大町総合病院の産科が継続できるよう広域的に働きかけを継続します。 | 1 | ほとんど進んでいない | | | |
| | | | | "なかよし広場"利用者数 | 1,764 | 1,664 | 1,850 | 広場利用の実績の無い保護者に対して案内を送付し周知の徹底を図り、親同士・子ども同士の交流を推進します。 | | | | | |
| | | | 子育てに関する交流や相談の場づくり | 子育て支援課 | "自由利用"利用者数 | 1,119 | 940 | 1,200 | 魅力ある遊び場となるように、園庭の遊具を計画的に更新します。 | | | | |
| | | | | | 子育て支援センター相談件数 | 44 | 52 | 60 | 専門職を配置したことにより相談件数は増加しました。支援の方向性の明確さを求める保護者が増加しています。 | | | | |
| | | | | | 子育て家庭への経済的支援 | 健康福祉課 | 小児インフルエンザワクチン助成 | - | 334 | 985 | | | 受診率41.8%。義務教育の中学生まで対象者を拡大します。 |
| | | | 子育てと仕事の両立支援 | 子育て支援課 | 休日保育利用者数 | 213 | 259 | 250 | 休日保育を希望する家庭は年間を通して固定化されています「が、観光地白馬村としては必要な支援と考えます。 | | | | |
| | | | | | 放課後児童クラブ利用者数 | 351 | 464 | 470 | 利用数は目標数値に近づいています。今後も必要とする家庭が利用しやすいように事業推進を図ります。 | | | | |
| | | | 障がい者支援 | 地域における自立生活の支援 | 健康福祉課 | 児童通所給付利用者数 | 90 | 137 | 100 | 小谷村に施設が開所し、利用者が増加しました。 | | | 5 |
| | | 障害福祉サービス利用者数 | | | | 40 | 43 | 55 | 必要者がサービスを確実に利用できることを重視します。全利用者の計画相談を基に必要なサービスを実施します。 | 4 | 概ね期待した成果 | | |
| | | 共同生活支援支給決定者数 | | | | 7 | 13 | 17 | 必要者がサービスを確実に利用できることを重視します。希望者の要望現状に合わせ支援します。 | 3 | 半分程度の成果 | | |
| | | 地域移行支援利用者数 | | | | 0 | 0 | 1 | 必要者がサービスを確実に利用できることを重視します。病院、施設と連携し希望者現状把握を実施します。 | 2 | 現時点では成果がみられない | | |
| | | 日常生活支援用具給付件数 | | | | 160 | 157 | 180 | 必要者がサービスを確実に利用できることを重視します。希望者の要望現状に合わせ支援します。 | 1 | ほとんど進んでいない | | |
| | | 社会参加の促進と就労支援 | | | 健康福祉課 | 法定雇用率達成企業数 | 0 | 0 | 1 | 障がい者の就労に関する理解が必要です。 | | | |
| | | | | | | 障害者優先調達推進法調達額 | 360,960 | 352,440 | 400,000 | 取扱品目の拡大を働きかけます。 | | | |
| | | 権利擁護の体制づくり | | | 健康福祉課 | 成年後見制度利用支援事業 | 0 | 0 | 1 | 該当者ありません。 | | | |
| | | 人にやさしいまちづくりの推進 | | | 健康福祉課 建設課・総務課 | 居宅生活動作補助用具支給件数 | 1 | 1 | 3 | 必要とする者は利用できています。 | | | |
| | | | | | | 地域福祉総合助成事業住宅改修件数 | 2 | 2 | 3 | 必要とする者は利用できています。 | | | |
| | | | | | | 通訳者派遣利用回数 | 10 | 27 | 17 | 障がい者差別解消法の施行に伴い、利用回数が増加しました。 | | | |
| | | 高齢者福祉 | | | 地域包括ケアシステムの構築 | 健康福祉課 | 介護予防取組みグループ数 | 19 | 19 | 24 | 新規活動団体の立ち上げ及び既存団体の継続に太支援を行います。 | 5 | 期待した成果 |
| | | | 介護予防事業参加者数 | 5,839 | | | 6,903 | 7,000 | 様々な機会を用いて、介護予防の啓発を行います。 | 4 | 概ね期待した成果 | | |
| | | | 地域ケア会議開催回数 | 6 | | | 6 | 6 | 多職種参加により、地域の課題等を検討する。 | 3 | 半分程度の成果 | | |
| | | | 生活支援サービスの体制整備 | 健康福祉課 | 配食サービス食数 | 1,693 | 2,688 | 2,000 | 地域包括支援センター及びケアマネジャー等がサービス利用の必要性を判断し、速やかに利用に結びついています。 | 2 | 現時点では成果がみられない | | |
| | | | | | 乗合タクシー利用者数 | 7,729 | 7,855 | 8,100 | 利用者からの評価は高いです。 | 1 | ほとんど進んでいない | | |
| | | | 高齢者の生きがいづくり | 健康福祉課 | 白馬シニアクラブ会員数 | 964 | 997 | 1,000 | 目標に向けて順調に推移しています。 | | | | |
| シルバー人材センター登録者数 | 639 | | | | 640 | 700 | 需要（して欲しい仕事）と供給（できる仕事）にミスマッチがあるようです。 | | | | | | |
| 認知症対策・権利擁護の推進 | 健康福祉課 | 認知症サポーター数 | 638 | 644 | 1,000 | 小中学生に対し、養成講座を計画します。 | | | | | | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 現状 | H28 | H29 | H32 目標 | 内部評価コメント | 外部評価基準 | 外部評価 | 外部評価委員コメント |
|--------|---------------------|---------------|---------------------------|------------------|-------------------|---|----------------|--|---|--|--|------|---------------|
| | 健康づくりと地域医療の充実 | 生活習慣病予防の推進 | | 健康福祉課 住民課 | 特定健診受診率 | 47.1% | 未確定 | | 60.0% | 27年度の確定値数は50.2%。H28数値の確定は11月。現在把握している概算値はH28の53.4%で、ここ数年増加しています。目標値達成に向けて、引き続き受診勧奨を行っています。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.8 | ・現段階での評価は難しい。 |
| | | | | | 特定保健補導指導率 | 73.3% | 未確定 | | 75.0% | 27年度の確定値数は66.7%。H28は保健師の増員も図り、目標値は達成できる見込みです。 | | | |
| | | 食育の推進 | | 健康福祉課 教育課・農政課 | 食育ボランティア登録者数 | 22 | 27 | 30 | 徐々に登録者は増加しています。第2期食育計画に基づき登録者の増加を目指します。農業や地場産品に親しむことを目的に小学生までの子どもと保護者を対象としたアグリスクールを開講しています。 | | | | |
| | | | | | 地域医療体制の確保 | 健康福祉課 | 平日夜間救急医療事業実施日数 | 289 | 288 | | | | |
| | | 平日夜間救急医療事業患者数 | 522 | 593 | | | | 平均利用率H27：1.4人がH28：2.04人に増加。利用率も増加しています。 | | | | | |
| | | 在宅当番医制度事業実施日数 | 285 | 214 | | | | 28年度より、内科・外科別を廃止し、北部・中部・南部の三ブロック制とし、休祭日・年末年始（北部地区は7月末～9月初旬の土曜日含む）の緊急救急医療体制を確保しました。 | | | | | |
| | | 在宅当番医制度事業内科数 | 3 | 3 | | | 3 | | | | | | |
| | | 在宅当番医制度事業外科数 | 1 | 1 | | | 1 | | | | | | |
| | | 在宅歯科当番医事業実施日数 | 75 | 74 | | | | 年間74日の休祭祭日・年末年始の緊急救急歯科医療体制を確保しました。 | | | | | |
| | | スキー傷害診療実施日数 | 42 | 41 | | | | | | | | | |
| | スキー傷害診療患者数 | 1,274 | 1284 | | | 冬期間の土日・年末年始・祝祭日に実施。北部地域のスキー傷害緊急救急医療体制を確保した。外国人利用も増加しています。 | | | | | | | |
| | 自立的・効率的で健全な行財政の村づくり | 情報通信技術の活用 | 個人番号カードの普及及び活用による住民サービス向上 | 住民課 | 個人番号カード交付率 | - | 7.06% | | 20% | 窓口で手続きに来庁された住民に対し、個人番号カード申請の案内をしています。また、広報紙等を通じて、個人番号カードの利便性・必要性を周知し、今後も継続し交付率増加を図ります。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.4 | ・推進に期待する。 |
| | | | | | 広域ネットワークの構築 | 総務課 | - | (2回) | - | - | | | |
| | | | 情報通信環境の整備・活用 | 総務課 | - | (SC準備) | - | - | 進化する情報機器や外部から脅威に対し、国県の指導に基づきセキュリティクラウドSC等随時対策を実施しました。 | | | | |
| | | 行財政改革の推進 | 魅力ある人材の確保と計画的・効果的な職員研修 | 総務課 | 市町村職員研修センター研修受講者数 | 32 | 46 | | 60 | 積極的に参加しています。 | | | |
| | | | | | 大北圏域相互乗入研修回数 | - | 11 | | 15 | さらに大北圏域内の市町村と連携し互いに能力の向上を図るため、研修の種類を増やしていきます。 | | | |
| | | | 財政計画の策定と財政状況の分析 | 総務課 | | - | (台帳整備) | - | - | 29年度実施計画へ財政状況試算表を掲載し、財政状況分析を公表します。 28年度において固定資産台帳を整備しました。 | | | |
| | | | | | 財政健全化 | 総務課 税務課 | 実質公債費比率 | 11.8% | 10.00% | | | | |
| | | | 将来負担比率 | 22.9% | | | 28.3 | | 30.0%未満 | 28年度数値は、速報値のため修正の可能性あり。 26年度災害復旧に係る起債等により、増加となっています。 | | | |
| | | | 税務課 | - | | (97.6%) | - | - | <村税収納率の向上> 村税等滞納整理基本方針に沿った債権管理の実施します。 村税現年分収納率 28年度実績97.6% 29年度目標98.0% コンビニ収納は31年度にシステム改修実施予定です。 | | | | |
| 公有財産管理 | | | 総務課 | - | (管理計画策定) | - | - | 平成28年度で公共施設等総合管理計画を策定。今後、個別施設管理計画等により、施設の長寿命化、効率化を目指します。また、未利用財産の活用を進めます。 | | | | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 現状 | H28 | H29 | H32 目標 | 内部評価コメント | 外部評価基準 | 外部評価 | 外部評価委員コメント | | | | | |
|------------------------|------------------------|--------------------------|---------------------------|----------------------|------------------------------|---------------|--------------------------|--------|--|---|--|--|--|--------|---|--|-----|--|
| 産業_新しい仕事を つくりだす村 | 「世界水準」を意識し た観光の村づくり | 競争力と持続可能性を 高める観光地経営 | 白馬連峰への眺望の魅力 最大化 | 観光課・建設課 総務課 | | - | (随時) | - | - | 住民、観光局、企業、ハクババレーと連携し、白馬の魅力を随時 発信します。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.0 | ・気象条件により左右される点で評価は難しいが、スノーハープ利用事業に増加傾向がみられる点は評価したい。 ・自然の良さの中に白馬らしい(日本らしい)環境と人との関わりを感じた気配に左右されない良さが必要と考えます。 ・通年営業の推進に期待する。 ・ジャンプ台リフト乗車数の減少は理由が納得できる。その他に関しては今後も天変地異は増加すると思いますが山と景観は移動しない。天気によくない観光地づくりを目指したい。 ・アタマデカ子にならないよう今一度振り返り地道に見直すのも良いと思う。 | | | | | |
| | | | 核となるスキー場と宿泊拠点の再生 | 観光課 | ウインターシーズン(12-3月) 観光客数(万人) | 111 | 109 | | 130 | 12月～1月の降雪の影響しました。 | | | | | | | | |
| | | | 国際リゾートに相応しい受入環境整備 | 観光課・総務課 | HAKUBA VALLEY Wi-Fi 整備箇所 | 0 | 7 | | 8 | 予定箇所終了しました。 | | | | | | | | |
| | | | 魅力の多様化に向けたコンテンツ創出 | 観光課 | グリーンシーズン(4-11月) 観光客数(万人) | 113 | 100 | | 120 | 一般的にオリンピックイヤーは減る傾向にあると言われています。 | | | | | | | | |
| | | | 観光業の活性化・平準化による安定的な雇用創出 | 観光課 | | - | (5件) | - | - | 観光局、企業と連携のうえ、活性化、平準化を目指します。28年度は商工会と協力し、創業支援を実施しました。 | | | | | | | | |
| | | | 地域特性を活かしたスポーツ ツーリズムの推進 | 生涯学習 スポーツ課 観光課 | スポーツ観光客数(万人) | | 101.5 | 94.4 | | 113.6 | スキー客の減少による影響が大きいです。 | | | | | | | |
| | | | | | 白馬ジャンプ競技場リフト乗車人数 | | 74,061 | 49,341 | | 83,000 | 国体開催に向けた大規模改修により大幅減となりましたが、施設の充実により今後の増加が見込まれます。 | | | | | | | |
| | | | | | スノーハープクロスカントリー大会出場者数 | | 2,121 | 2,393 | | 2,300 | 広報、運営の充実により参加者が増加してきています。更なる増加を目指します。 | | | | | | | |
| | | | | | FISサマーグランプリジャンプ大会来場者数 | | 6,580 | 5,880 | | 7,300 | 悪天候により減少となりましたが、大会運営を充実し、来場者の増加を目指します。 | | | | | | | |
| | | | | | スノーハープマウンテンバイク大会参加者数 | | 280 | 809 | | 310 | 大会運営の形態の変更、地元観光協会の運営見直し等により増加しました。 | | | | | | | |
| | | | 観光施設の維持管理 | 観光課 | | - | (随時パトロール) | - | - | 適正な維持管理に努めます。八方尾根登山道パトロール週1回、大雪深パトロール5回実施しました。 | | | | | | | | |
| | | | 広域観光の取り組み | 観光課 | | - | (随時打合) | - | - | ハクババレーと随時打合せを実施し、広域観光に取組みます。 | | | | | | | | |
| | | | 農地と森を守り地産を活かす村づくり | 優良農地の保全 | 農政課 | 里山環境の保全 | 耕作放棄地面積(ha) | | 15.8 | 11.4 | | | | 10.0 | 転用件数の増加と維持管理農地は耕作放棄地に含めないことが減少の要因。農業委員による農地パトロールを継続して実施します。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.6 | ・認定農業者への農地集積化が進み、農地が保全される傾向にあるが、安易な農地転用がされないような施策にも期待したい。 ・早期に農地(特に荒地)の改修をはかる。 ・景観を考えて作物をつくることも必要。観光にとっても重要。 |
| | | | | | | | 多面的機能支払交付金取組面積(農地維持)(ha) | | 404.64 | 404.64 | | | | 410.00 | 各組織について前年同様、農地維持のための協同作業活動を行うことができました。 | | | |
| 農業施設の維持管理 | 農政課 | 多面的機能支払交付金対象面積(長寿命化)(ha) | | | | | 315.09 | 366.69 | | 400.00 | 28年度から、新たに神城農地保全会が51.6ha長寿命化に取り組みました。 | | | | | | | |
| ほ場整備の推進 | 農政課 | 新規地区(北城)(ha) | | | | | - | (4回) | | 30 | 北城南部地区の事業採択に係る審査会への申請手続きを行いました。また、地権者への説明会を実施しました。 | | | | | | | |
| 認定農業者への支援 | 農政課 | 農業機械等購入補助件数(累計) | | | | | - | | 8 | | 30 | 震災の影響もなくなり、活用者の多くが認定農業者となる中、要綱の見直しが必要な時期を迎えています。 | | | | | | |
| | | 認定農業者への農地利用集積面積(ha) | | | | | 359 | 395 | | 400 | 高齢化に伴う農業離れ及び認定農業者の増により大幅な集積となりました。 | | | | | | | |
| | | 認定農業者数 | | | | | 24 | 25 | | 28 | 大規模認定農業者には法人化を勧め、長野県と連携を取りながら認定新規就農者のバックアップ体制を図っていきます。 | | | | | | | |
| 就農体験の機会づくり | 農政課 | | | | | | - | (6回) | | - | アグリカル6回開講、市民農園の貸出を行っています。県主催の大学生のファームステイ受入の支援を実施します。 | | | | | | | |
| 有害鳥獣対策 | 農政課 | 農産物被害額(万円) | | | | | 104.8 | 56.8 | | 78 | 国庫補助を活用した、長距離電気柵の防除効果が高く被害は減少傾向。山の豊凶具合により被害額に波が出る可能性が大きいです。 | | | | | | | |
| 農産物のブランド化と特産品の生産・販売の推進 | 農政課 | 米の品質向上・ブランド化 | | | | 白馬産ブランド米生産農家数 | | - | | 5 | 10 | 白馬村独自の基準により作付を指導します。 | | | | | | |
| | | 特産品の生産・販売強化 | | | | 紫米消費量(t) | | 6 | 7 | | 8 | 販売促進により徐々に増えています。 | | | | | | |
| | | | 特産品栽培面積(ha) | | 7 | 7 | | 10 | 今後目標達成の為の面積増見込みは大いにあります。 | | | | | | | | | |
| | | 地産地消の推進 | 農政課 | 地場産品売上高(万円) | | 2,041 | 1933 | | 2,500 | 道の駅直売所でのみの売上であり、村全体では増見込みです。しかし、今後の生産者の状況により変動がある可能性が大きいです。 | | | | | | | | |
| | | | | 地産地消認定者 | | - | - | | 25 | 現在他県の事例等を調査中です。 | | | | | | | | |
| | | 道の駅建設と地域経済循環システムの構築 | 農政課・観光課 総務課・建設課 | 新しい道の駅 | | - | (2回) | (採択) | 1 | 28年度国交省と打合を行い、29年度は先導的官民連携調査事業に採択されました。 | | | | | | | | |
| 森林の整備と活用 | 農政課 | 森林整備地域活動支援 | 森林整備面積(公共造林事業)(ha) | | 5.1 | 2.4 | | 60 | 26年発生した地震の影響や森林組合の補助金不正受給問題により停滞している森林整備ですが、補助事業の再開が認められ、森林組合も少しずつ動き始めています。今後は、県の指導、各地区協議会や地権者の理解を得ながら、森林整備を進めていきます。 | | | | | | | | | |
| | | 森林資源とふれあう機会の創出 | 農政課・観光課 | | - | (5回) | - | - | 大北植樹祭や緑の少年団交流会、木流川観察会を通じ、森林に親しむ機会を提供します。28年度は5回を実施しました。 | | | | | | | | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 現状 | H28 | H29 | H32 目標 | 内部評価コメント | 外部評価基準 | 外部評 価 | 外部評価委員コメント |
|------------------------------|---------------|------------|-----------------------------|----------------|--------------------------|-----------|------|-----|---|---|--|--|---|
| 商工業の振興により 雇用を生みだす村づく り | 商工振興・創業支 援 | 商工振興 | 商工振興 | 観光課 | 小規模事業者経営改善資金 助成金額（万円） | 108 | 112 | | 162 | 順調に推移しています。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.5 | ・おおむね順調に成果が出ている。 ・更なる推進に期待する。 ・長い目でじっくり考えて進めることが重要か と。 |
| | | | 創業支援と空き店舗活用 支援、後継者支援 | 観光課 | 空き店舗の斡旋と活用件数 | - | 1 | | 5 | 空き店舗の斡旋等のシステムづくりが課題です。 | | | |
| | | | | | 創業支援者数 | | 3 | | 5 | 順調に推移しています。 | | | |
| | | | 新しいしごとの創出 | 総務課 | サテライトオフィス企業数 | - | (6回) | | 1 | ふるさとテレワーク事業等を活用し、公共施設利用率向上、人口 増、雇用増を目標します。28年度は総務省や企業と打合を実施 しました。 | | | |
| 民間活力を活かす村 づくり | 産官学金労言連携 | 大学・企業等との連携 | 総務課・観光課 健康福祉課 農政課・教育課 | 連携協定に基づき進行中の事業 | - | | 2 | | ヤフー株式会社、SBドライブ株式会社、信州大学、東京農大と 連携しているがさらに事業内容を研究します。また村内進出の大 学との連携を図ります。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.8 | ・今後も事業件数が増えるように努力してい ほしい。 ・内容をもっと知りたい。 | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 現状 | H28 | H29 | H32 目標 | 内部評価コメント | 外部評価基準 | 外部評価 | 外部評価委員コメント | | | |
|-------------------|----------------|---------------------|-------------------------|----------------|-------------------|---|---|---|--|--|--|--|---|--|-----------------------|---|
| ひと一人ひとりが成長し活躍できる村 | 学びあい育てあう村づくり | 次代を担う子どもたちの学習支援 | 「自ら学び、自ら考える力」と「生きる力」の育成 | 教育課 | 中学校情報端末活用生徒数（延べ） | 0 | 48,000 | | 900 | 想定値を遙かに上回る実績であるため、より一層の事業充実を達成できる財政措置を求めます。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 4.1 | ・情報端末の利用は予想以上の成果。しろうま学舎についても順調といえる。 ・学校内外で広く村民と関わり子供たちが元気に育っていることをうれしく思います。 ・白馬村にしかない素晴らしい物、家、土地、山、川、集落、人、文化財等を小学校教育中に教えてほしい。 | | | |
| | | | | | 小学校情報端末活用児童数（延べ） | 0 | 8,043 | 690 | 想定値を遙かに上回る実績であるため、より一層の事業充実を達成できる財政措置を求めます。 | | | | | | | |
| | | | 地域に開かれた学校づくり | 教育課 | 信州型コミュニティスクール設置校数 | 0 | 1 | 3 | 3 | 28年度白馬中学校に設置し、29年5月には両小学校にも設置した。今後は、各校と地域住民の協働による地域に開かれた信頼される学校づくりに取り組みます。 | | | | | | |
| | | | 安心・安全な学習環境づくり | 教育課 | | - | | - | - | 北小学校体育館非構造部材耐震化、南小学校玄関への電気錠の設置を進めます。 | | | | | | |
| | | | 地域を担う人材の育成 | 総務課 (白馬高支援) | しろうま学舎塾生数 | - | 47 | 55 | 60 | H29は5月現在。29年度から基礎、大学受験とコース制を導入。生徒の進学目標を明確にして学習意欲の向上を目指します。 | | | | | | |
| | | 自己実現を目指す生涯学習と青少年育成 | 限りない向上心を支える生涯学習 | 生涯学習スポーツ課 | 平均講座受講者数 | 15 | 19.6 | | 22 | 講座内容の充実を図り、受講者数の増加を図ります。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.8 | ・講座の受講者数やコンサート入場者数の増加がみられ、内容の検討をはかって生涯教育の増進を期待したい。 ・地域住民も参加し力を合わせる。 | | | |
| | | | | | 図書館の充実 | 生涯学習スポーツ課 | 図書館来場者数（延べ） | 12,800 | 12,920 | 25,000 | | | | 利用者に使いやすいくなるよう、改善を図っていきます。 | | |
| | | | | | 人権教育の推進 | 生涯学習スポーツ課 住民課 | | - | - | - | | | | 教育委員会とタイアップし、青少年健全育成活動に参画します。（住民課） | | |
| | | | | | 青少年健全育成事業の推進 | 生涯学習スポーツ課 | | - | - | - | | | | 事業の推進を図ります。 | | |
| | | | | | 文化・芸術の振興 | 生涯学習スポーツ課 | コンサート等入場者数（延べ） | 340 | 1,191 | | | | | 500 | 関係団体と公演内容の充実を図っていきます。 | |
| | | 生涯にわたりスポーツに親しむ村づくり | スポーツによる健康づくりと活力の創造 | スポーツによる健康増進 | 生涯学習スポーツ課 | 週1日以上スポーツをする人の割合 | 40% | - | | 46% | 平成30年度調査実施します。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 4.0 | ・スポーツ団体の数や登録者数が増加傾向にあり、成果が出ている。また、施設の利用者も増加しており、今後ともこの流れを止めないよう努力してほしい。 ・関係機関の方々の努力で良い結果がみられている。村民共に応援していけるよう、広く知らせてほしいと思います。 ・村民への周知等の徹底。スキー以外のエキスパートの養成等に期待する。 ・スポーツは白馬村の大切なコンテンツです。で特長を出すという面でも他の市町村よりこだわった仕組みづくりに期待します。 | | |
| | | | | | | 体協・総合型地域スポーツクラブ主催教室参加者数 | 4,166 | 4,203 | 4,700 | 参加者数の増加に向け、体協、総合型と更なる検討を行います。 | | | | | | |
| | | | | | | 子どもが日常的に楽しくスポーツに取り組むことができる環境づくり | 生涯学習スポーツ課 | 中学生のスポーツ実施率 | 73.0% | - | | | | | 83.0% | 平成30年度調査実施します。 |
| | | | | | | 小学生のスポーツ実施率 | 67.8% | - | | 77.0% | 平成30年度調査実施します。 | | | | | |
| | | | | | | スポーツ競技者の競技力向上 | 生涯学習スポーツ課 | スポーツ功労賞等受賞者数 | 22 | 29 | 17 | | | | 25 | スキーのみならず、マウンテンバイクでも受賞者がおり、複数のスポーツでトップ選手育成の成果が出ています。 |
| スポーツ少年団登録者数 | 362 | | | | | | | 374 | 410 | スポーツ推進計画策定及び関係者の努力により、増加してきています。 | | | | | | |
| 体育協会加盟団体登録者数 | 1,142 | | | | | | | 1,184 | 1,280 | スポーツ推進計画策定及び関係者の努力により、増加してきています。 | | | | | | |
| 白馬村スキークラブ競技登録者数 | 62 | | | | | | | 64 | 70 | 関係機関の努力により増加しています。更なる登録者数の増加を支援します。 | | | | | | |
| スポーツ施設の整備及び充実 | 生涯学習スポーツ課 | | | | | 社会体育施設等利用者数（延べ） | 86,935 | 75,894 | 96,000 | グラウンドの利用は天候により減少しますが、施設全体の利用者数増加を目指します。 | | | | | | |
| | | | | | | ウイング21利用者数（延べ） | 53,946 | 62,170 | 60,400 | 利用者数は増加しています。 | | | | | | |
| | | クロスカントリー競技場利用者数（延べ） | 12,121 | 14,964 | 13,500 | 多目的コース建設等により利用者数が増加。MTBでの利用促進等更なる増加を図ります。 | | | | | | | | | | |
| 一人ひとりに活躍の場がある村づくり | 人のつながりによる活力の創出 | 総務課 | 多様な人々が交流する機会の創出 | - | (4回) | - | - | 28年度は白馬ファンや外国住民が集える場の提供として都市圏のイベント4回実施しました。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.8 | ・周知の徹底をはかる。 ・本当に効果があるのかについて検討すべきでは。 | | | | | |
| | | | 若者交流・結婚支援 | 総務課 | 村内の若者交流イベント開催回数 | - | 1 | 1 | | | | 雪上運動会を開催しました。（36名参加） | | | | |
| | | | 広域連携による若者交流イベント開催回数 | - | 1 | 1 | 1 | 山麓クワバを開催しました。（約100名参加） | | | | | | | | |
| | 男女共同参画社会の推進 | 総務課 | 講演会開催回数 | 1 | 0 | 2 | 開催に努めます。 | | | | | | | | | |
| | | | 白馬村役場の女性職員の採用割合 | 0 | 0 | 30 | 一般事務職（保育士、保健師等除く）。職員の採用にあたっては、男女問わず、試験及び面接等により判断しているところです。H28では女性の申込みがありました。採用までは至りませんでした。今後は女性の申込者を増やすため、積極的に周知していきます。 | | | | | | | | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 現状 | H28 | H29 | H32 目標 | 内部評価コメント | 外部評価基準 | 外部評 価 | 外部評価委員コメント |
|-------------------|----------------------|--------------------------------------|--|---|---|--------------------|-----------------------|-------------------------------|---|---|---|--|---|
| 自然_魅力ある自然を守る村 | かけがえのない山岳自然環境を守る村づくり | 天恵の自然との共生 | 自然環境保護 | 観光課・総務課 生涯学習 スポーツ課 | 環境配慮型トイレへの改修 | 1 | 0 | | 2 | 下水道や、浄化槽設置が困難な地域に検討します。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.0 | ・地域を検討し改修を進める努力をしてほしい。 ・早期に設置することを要望する。 |
| | | 自然エネルギーの活用 | グリーンエネルギー・自然エネルギーの活用 | 農政課・観光課・総務課 | 小水力発電量（万Kwh/年） ペレットストーブ購入補助件数（累計） ペレット販売数量（袋） 低公害公用車両数 | - 5 689 4 | 108 12 971 4 | | 140 30 1,200 6 | 既存施設については、ほぼ計画通りの発電を実現できています。 平均4台程度の購入があります。 住民からの要望に、ほぼ応えられています。 公用車入れ替えの際は低公害車購入を検討します。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.8 | ・小水力発電を新たに設置する努力が必要。 ・村民の周知等徹底をはかる。 ・小規模水力発電を各地域につくり、地域管理してあげる。 |
| 自然との生き方を受け継ぐ村づくり | 守るべきふるさとの歴史と文化の継承 | 先人が築いた有形・無形文化継承 | 生涯学習 スポーツ課 | | - | - | - | - | | 文化の継承を図ります。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.0 | ・文化歴史に関する具体的な施策がみられない。 ・小・中学生にはスキーをする機会を増やすよう期待する。 ・データが必要。 ・リフト券の村民に対するサービスが必要では？ まず自分たちが楽しいことがとても大切。 |
| | | | 生涯学習 スポーツ課 | 週1～2回スキーをする小学生の割合 週1～2回スキーをする中学生の割合 週1～2回スキーをする成人の割合 体協スキー教室参加者数 | 29.0% 20.8% 8.7% 81 | - - - 83 | | 33.0% 24.0% 10.0% 90 | 30年度調査実施します。 30年度調査実施します。 30年度調査実施します。 参加者が更に増加するよう、関係者機関と検討していきます。 | | | | |
| | | 総務課 | 地域住民や長野県と連携し、現代にあった基準策定に着手します。28年度は環境審議会8回開催し、議論しました。 | - | (8回) | - | - | | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.8 | ・環境保全を形成するための積極的な働きが不十分。 ・焼却ゴミが増加しておりリサイクル率も低迷している。住民へのさらなる啓発に期待したい。 ・景観の保全に一層努められたい。 ・引き続き努力してほしい。 ・観光にご多岐にわたる自然共有の心豊かな人々が住む村をつくる。 ・まず、飯森から八方に道路両側の電柱や電線建物等について十分に考えて進める。 | | |
| | | 総務課 | 地域住民や長野県と連携し、現代にあった基準策定に着手します。28年度は定期的にパトロール実施しました。 自己の財産は自己で管理するということを基本に地区と連携し、景観保持等に努めます。28年度は空き家調査実施し、35件確認されました。 マナー条例施行に伴い、村内4箇所にごみのポイ捨て禁止看板を設置したほか、引き続き不法投棄監視員による巡回を行っています。（週1回） 野外焼却の禁止については、特に外国人住民向けに英文チラシを作成し、配布しています。 | - - - | (4回) (35件) (週1回) | - - - | - - - | | | | | | |
| 美しい景観を守り育む村づくり | 自然環境に調和したまちづくりの推進 | 世界水準の観光地に相応しい開発基準 美しい風景を守るための景観形成 | 総務課 | | - | (8回) | - | - | | | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.4 | ・個々の努力も必要だが、浸透するように呼び掛けてほしい。 ・地区集積場を大きくする必要あり。 |
| | | | 総務課 | | - | (4回) | - | - | | | | | |
| | | | 総務課 | | - | (35件) | - | - | | | | | |
| | | 住民課 | 不法投棄・野外焼却の防止 | - | (週1回) | - | - | | | | | | |
| | | 住民課 | ごみ収集・運搬体制の強化 | 地区集積場箇所数 | 52 | 57 | | 57 | | 28年度はこれまで未設置だった和田野区で集積場を新設した。めいてつ、みそら野区は小規模ステーション方式による拡充を図っています。更に今後も増える見込みです。（数値は小規模ステーションを含む。） | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | | |
| | | | ごみの削減と分別の徹底 | 生ごみ処理機利用世帯数 焼却ごみの量（t/年） | 150 3,000 | 190 3,106 | | 300 2,900 | | 生ごみ処理機導入100世帯で、ごみ総量の1%の削減を見込む。導入世帯数はH27実績に比べH28は1/3程度まで落ち込んだことから、引き続き導入推進の周知・PRを行っています。 近年外国人観光客の増加等から、ごみ排出量はほぼ横ばいである。H29からは清掃センターへの直接搬入ごみを指定袋方式に変更。これに合わせ更なる分別の徹底を呼び掛けています。 | | | |
| | | | 住民課 | 北ア広域連合との連携によるリサイクルセンターの活用とリサイクル率の向上 | リサイクル率 | 22% | 22% | | 30% | リサイクル率はほぼ横ばい。今後は生ごみ堆肥化等の取り組みを強化することにより、更にリサイクル率の向上を図ります。 | | | |
| きれいな水と空気に囲まれる村づくり | ごみ処理広域化への対応とごみ減量化 | 上下水道課 | 29年度に水道施設更新計画を策定する | - | (随時) | - | - | | 更新計画について平成30年3月までに策定するため、業者発注が完了し打合せを実施しています。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.7 | ・長期に関わる内容と思います。今後も積み重ねようお願いします。 ・長寿命化の事業はほぼ順調に進んでいる。今後も計画的に進めてほしい。 ・早期100%に期待する。 | |
| | | 上下水道課 | 水質保全の啓発、定期的な美化清掃、自然林の保全 | - | (10月の第1週) (毎週月曜日) | - | - | | 上下水道課では、水道週間の啓発運動の実施、住民課では不法投棄パトロールの定期実施、農政課では伐採届の受理を行っています。 | | | | |
| | | 上下水道課 | 機械・電気設備の更新（事業費予定総額に対する決算額の累計率） (H26年度：実施計画の策定、H27～30年度：更新の実施) | 29% | 38% | | 100% | | 施設の長寿命化のための機器等の更新は今後も継続する必要があります。 なお、現在の長寿命化計画に基づく更新事業は、国の施策変更により平成30年度で終了し、新たにストックマネジメント計画(5年計画)を策定しなければ国からの交付金が受けられなくなることから、近々で計画策定が必要となります。 | | | | |
| | | 上下水道課 | H31.4～の地方公営企業法の適用に向け、3年計画で移行のための調査を実施（全体事業に対する各年度の事業内容率） H28：基本計画の策定 H29：固定資産調査＋評価 H30：移行に向けたシステム検討、例規の改廃 | - | 30% | 35% | | | 下水道事業の地方公営企業法の適用は、国は人口3万人以上の事業体を対象としています。実際には平成31年度までを集中取組期間として移行費に対する起債発行を認めるなど、全事業体に対し移行を求めているのが現状です。 | | | | |
| | | 住民課 | 効率的なし尿処理方法の確立 | - | (随時打合) | - | - | | | 生し尿・浄化槽汚泥の公共下水道施設での受入れを検討。（H33～H34の稼働も見込だが、現状では受入場所は未定） | | | |

| 基本目標 | 基本施策 | 重要業績評価指標 (KPI) | 担当課 | H26 (現状) | H28 | H29 | 目標 (H31) | 内部評価コメント | 外部評価基準 | 外部評価 | 外部評価委員コメント |
|--------------------------|-----------------------|--------------------|--------|-------------|-----|---------|--------------------------------|--|--|--|---|
| ■ 地域の資源と人を活かした「しごと」を創出する | 新規正規雇用者数 | 観光課 | 30 | 30 | | 50 | 高校生に対する就職相談会を実施します。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 2.9 | ・企業側への働きかけを進めるべきでは。 ・定期的に実施すること。 ・とても良い試みだと思いますので進めていただきたいと思います。 ・景観を活かした観光を見直す。 | |
| | 白馬産農産物ブランド化 | 白馬産米ブランド化（取組み農家数） | 農政課 | - | 5 | 6 | 10 | 白馬村独自の基準により作付を指導します。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.3 | ・少しずつ成果は出ているようだが、もう少し後押しが必要。 ・推進に期待する。 ・特産農産物の栽培増加に期待します。 ・道の駅を活かした特産物の振興。 |
| | | 紫米の消費量 (t) | 農政課 | 6 | 7 | | 8 | 販売促進により徐々に増えています。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | | |
| | | 特産農産物の振興（栽培面積）(ha) | 農政課 | 7 | 7 | | 10 | 今後目標達成の為の面積増見込みは大いにあります。 | | | |
| | 新たな創業支援と空き店舗の活用支援 | 空き店舗の斡旋と活用件数 | 観光課 | 0 | 1 | | 5 | 空き店舗の斡旋等のシステムづくりが課題です。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.3 | ・新規創業者は増えつつあるが、まだ未定。空き店舗の利用促進と併行して後押し施策を望む。 ・今後益々増やすべきなので商工会との連携が必要。 ・村全体を考えたシステムづくりが必要。 |
| | | 店舗後継者数 | 観光課 | 0 | 0 | | 3 | 商工会等と連携が必要です。 | | | |
| | | 新規創業者数 | 観光課 | 3 | 5 | | 10 | 順調に推移しています。 | | | |
| | グリーンエネルギー・自然エネルギーの利活用 | ベレットストーブ購入補助件数（累計） | 農政課 | 5 | 12 | | 30 | 平均4台程度の購入があります。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 4.1 | ・ベレットストーブに関しては今後も普及と努力が必要。小電力は順調だが、さらに増やせるよう努力してほしい。 ・益々進めてください。 ・薪ストーブを進めてみてはどうか（補助）。小電力増やし観光にも利用する。 |
| | | ベレット販売袋数 | 農政課 | 689 | 971 | | 1,000 | 住民からの要望に、ほぼ応えられています。 | | | |
| | | 小水力発電量（万KWh） | 農政課 | - | 108 | | 100 | 既存施設については、(ほぼ計画)通りの発電を実現できています。 | | | |
| | グリーンシーズンの観光振興 | 観光客数（4～11月）(万人) | 観光課 | 113 | 100 | | 120 | 一般的にオリンピックイヤーは減る傾向にあると言われています。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 2.0 | ・減少した原因を分析して対策を取る必要がある。 ・宣伝に力を入れる。 ・民間と行政が連携すべき。 ・日本人が訪れる観光地を、今一度見直す。 |
| | 道の駅の建設と地域経済循環システムの構築 | 道の駅売場収入額（百万円） | 観光課 | 249 | 230 | | 300 | 微減しましたが、公社に協力し売上増を目指します。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 2.6 | ・売上げが増加しない原因を探り対策を講じる必要がある。 ・道の駅の大規模な改築が必要。 ・現代のお客さま、白馬に來られるお客さまのニーズを研究することが先決。 ・大きな道の駅をつくらねば。 ・見直しが必要。 |
| 観光業の体力強化に向けた計画の推進 | 観光客数（万人） | 観光課 | 224 | 209 | | 250 | 2年連続の寡雪が影響しました。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 2.9 | ・外国人のみに頼らない観光戦略に期待したい。 ・宿泊施設との連携が大切。 ・積雪量のリスクは当然あるものと考え、事業を計画すべき。 ・外国人客にたよらない観光の見直しを。 | |
| | 外国人観光客延宿泊数 | 観光課 | 77,724 | 100,310 | | 100,000 | 順調に推移しているが、1国集中しているため危うさもあります。 | | | | |
| 看護師と介護職員等の安定雇用 | 新規就業者（看護師） | 健康福祉課 | 0 | - | | 2 | 各事業所と連携を図りながら、専門職の確保に努めます。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 2.4 | ・目標に向けて努力してほしい。 | |
| | 新規就業者（介護職員） | 健康福祉課 | 0 | - | | 4 | 各事業所と連携を図りながら、専門職の確保に努めます。 | | | | |

| 基本目標 | 基本施策 | 重要業績評価指標 (KPI) | 担当課 | H26 (現状) | H28 | H29 | 目標 (H31) | 内部評価コメント | 外部評価基準 | 外部評価 | 外部評価委員コメント |
|-----------------------|-----------------|-----------------|-----|-------------|-----|-----|---|--|--|---|--|
| ■ 白馬への新しい「ひと」の流れをつくる | | 人口の社会増数 | 総務課 | 111 | 57 | | 111 | 前年と比較して、転入者数が減り転出者数が増えています。定住のための施策を研究します。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 2.1 | ・転出者を上回る移住者を増やす努力が必要。 ・転入者とのコミュニケーションが必要。 ・どんな人にならうという思いで転入してほしいかを絞ることが大切だと思う。後の定住性や満足度に繋がるから。 ・住みやすい村づくり、自然景観を活かした村づくり、時間や金に振り回されない心のゆたかりとした村に。 |
| | 魅力ある白馬への移住・定住支援 | 移住者数 | 総務課 | - | 66 | | 20 | 窓コアンケートにより捕捉。30代以下が6割を占め、ほぼ全員がUターンとなっています。白馬村の暮らしの魅力を伝えるツールを制作し、情報発信に努めます。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.4 | 若い移住者が増加しているのは良い傾向。今後も増加するよう努力してほしい。 ・Uターンに力を入れることも必要。 ・移住が転住になることを期待します。 ・若者の人口比が村に活力を与えるので素晴らしいと思うが、定住してもらうための工夫が重要になってくると思う。集落支援員の活動に期待する。 ・古いものを大事にし、新しいものはよく調べて進める。 |
| | | 地域おこし協力隊員数 | 総務課 | 3 | 5 | | 10 | 地区課題解決ため増員を図りたいが、勤務場所等の研究が必要です。(特別交付税対象400万円) | 1 ほとんど進んでいない | | |
| | | サテライトオフィスの設置企業数 | 総務課 | - | 0 | | 1 | 国の補助事業を活用しながら進めます。 | 1 ほとんど進んでいない | | |
| | | 移住定住フェアの開催回数 | 総務課 | 0 | 1 | | 2 | 広域や県と連携し都市部のイベントに参加します。 | 2 現時点では成果がみられない | | |
| 地域高校である白馬高校の魅力化 | 他県からの入学者数 | 総務課 (白馬高校支援) | 0 | 13 | 18 | 15 | 28年度全国募集を開始。29年度は地元から入学者が減少しましたが、全国及び県内他地区生徒が増加しました。白馬村というネームバリューにより興味をもつ生徒、保護者は多いです。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.9 | ・移住者と同じく、どのような目的を持つ生徒に来てほしいかターゲットをしっかりとすべき。 ・地元高校生に期待したい。 | |
| 外国人の児童・生徒に対応した教育環境の整備 | 外国人住民登録者数 | 教育課 | 177 | 245 | | 240 | 目標は達成したが、支援員の配置など具体的な施策は実行されていません。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.6 | ・教育環境の整備を進める具体的施策に期待したい。 ・教育は重要であり、長いスパンで取り組むべき事なので、急ぐべきことではないと思います。 | |
| 都市部からの児童・生徒の受け入れ | 受入留学生数 | 教育課 | 0 | 0 | | 5 | 留学の定義が曖昧なので精査の必要があります。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 2.0 | ・具体的な受け入れ体制を作る必要がある。 ・受け入れに期待する。 ・設定項目、KPI等そぐわないのでは？ ・内部評価と同感。 | |

| 基本目標 | 基本施策 | 重要業績評価指標 (KPI) | 担当課 | H26 (現状) | H28 | H29 | 目標 (H31) | 内部評価コメント | 外部評価基準 | 外部評価 | 外部評価委員コメント |
|-----------------------------|---------------------|----------------|-------|-------------|-------|------|---|---|--|--|--|
| ■ 若い世代の結婚・出産・子育ての「きぼう」をかなえる | | 年間出生数 (累計) | 健康福祉課 | 63 | 43 | | 350 | 大幅に出生率が低下。要因の分析とともに、定住促進・子育て支援等分野との連携を図り、出生率の向上を図ります。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 2.5 | ・子供いない家庭の更なる支援に期待する。 ・出産に対する待遇を良くする工夫をすべき。 ・結婚期待したい。 ・結婚したい環境づくりが必要。(出会いの場所等) |
| | 安心・安全な妊娠・出産への支援 | 合計特殊出生率 | 健康福祉課 | 1.19 | 0.87 | | 1.30 | 大幅に出生率が低下。要因の分析とともに、定住促進・子育て支援等分野との連携を図り、出生率の向上を図ります。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.4 | ・支援については評価できるが、成果に結びついていないのが残念。 ・出産等は自然の流れ等有人の努力では難しいこともあるが、子育てをしやすい環境をつくる。住みやすい土地と人に恵まれることで若い人が元気に暮らし子供を育てていこうと考える。そのような生活環境の構築があればよいと考えます。 ・結婚後の生活に魅力ある村づくりに期待する。 ・出生率と村の経済はリンクする。経済的な裏付けが弱いと女性は子供を産まない。妊娠した女性へのケアが厚いことは良いこと。 |
| | | 妊婦基本健診受診率 | 健康福祉課 | 97.1% | 97.5% | | 100% | 流産の1名以外は全員の利用が図れています。 | | | |
| 新生児訪問実施割合 | | 健康福祉課 | 74.6% | 93.1% | | 100% | 出産後1か月以内の訪問を目標にしています。里帰り出産者は里帰り先市町村へ依頼又は帰宅後の訪問を実施します。 | | | | |
| 子育てへの安心サポート | 休日保育の利用者数 | 子育て支援課 | 213 | 259 | | 270 | 休日保育を希望する家庭は年間を通して固定化されていますが、観光地白馬村としては必要な支援です。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 4.0 | ・利用者数で一定の成果が見られる。今後も増加するよう努力してほしい。 ・受け入れが必ずできるよう、支援に期待する。 | |
| | 放課後児童クラブの利用者数 | 子育て支援課 | 351 | 464 | | 470 | 利用数は目標数値に近づいています。今後も必要とする家庭が利用しやすいように事業推進を図ります。 | | | | |
| | 子育て支援センター個別相談件数 | 子育て支援課 | 44 | 52 | | 60 | 専門職を配置したことにより相談件数は増加しました。支援の方向性の明確さを求める保護者が増加しています。 | | | | |
| 婚活サポート事業 | | 婚姻数 (累計) | 総務課 | 41 | 61 | | 270 | 当該年度の若者交流事業が直接的に婚姻につながっているわけではありませんが、引き続き出会いの場を創出していくとともに、個別のマッチングについても他の機関とともに検討を進めます。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 2.9 | ・目標値とは程遠いが増加するような施策を実行してほしい。 ・村内だけでなく広く出会いの機会があることが望まれます。また、自分が住む白馬を胸を張って素晴らしいと言える村づくりも外からの人を呼びこむ(会おう)ためには大切と考えます。 ・出会いの場の内容に期待する。 ・成果はあるが目標値が高いので単なる工夫が必要。 |
| ICTを活用した教育の推進 | 中学校タブレット活用授業 (延べ人数) | 教育課 | 0 | 48,000 | | 900 | 想定値を遙かに上回る実績であるため、より一層の事業充実を達成できる財政措置を求めます。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.9 | ・利用数では大きな成果が得られている。その学習成果について学校と連携して研究してほしい。 | |
| | 小学校タブレット活用授業 (延べ人数) | 教育課 | 0 | 0 | | 690 | タブレット端末を早期に導入できるように体制を整えます。 | | | | |

| 基本目標 | 基本施策 | 重要業績評価指標 (KPI) | 担当課 | H26 (現状) | H28 | H29 | 目標 (H31) | 内部評価コメント | 外部評価基準 | 外部評価 | 外部評価委員コメント |
|-----------------------------|---------------------------|-----------------|-----------|-------------|--------|-------|---|---|--|---|--|
| ■ 将来にわたって住み続けたい魅力ある「まち」をつくる | | 新築住宅戸数 (累計) | | 28 | 100 | | 150 | 順調に推移しています。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 4.1 | 引き続き、増加するよう努力することを期待する。 |
| | 地域包括ケアシステムの構築 | 介護予防取組グループ数 | 健康福祉課 | 19 | 19 | | 24 | 新規活動団体の立ち上げ及び既存団体の継続に支援を行います。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.0 | さらなる支援、指導する努力が必要。 更なる支援に期待する。 |
| | | 災害時支え合いマップ作成地区 | 健康福祉課 | 17 | 17 | | 30 | 未作成地区に対象を絞った取り組みを進めます。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | | |
| | 健康づくり支援 | 特定健診受診率 | 健康福祉課 | 47.1% | 確定値未 | | 60.0% | 27年度の確定値数は50.2%。増加傾向ですが、目標値には達しません。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.4 | 今後も啓発に力を入れてほしい。 更なる推進に期待する。 |
| | | 特定保健指導率 | 健康福祉課 | 73.3% | 確定値未 | | 75.0% | 27年度の確定値数は66.7%。H28は保健師の増員も図り、目標値は達成できる見込みです。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | | |
| | | 食育ボランティア登録者数 | 健康福祉課 | 20 | 27 | | 30 | 徐々に登録者は増加しています。第2期食育計画に基づき登録者の増加を目指します。 | | | |
| | 小集落への集落支援員の配置 | 集落支援員数 | 総務課 | 0 | 0 | 2 | 2 | 地区課題解決ため増員を図りたいが、勤務場所等の研究が必要です。特別交付税対象(350万)。青鬼地区では観光客とのトラブルの減少につながっています。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 2.9 | さらなる増員と活動の場所、内容を増やす努力に期待したい。 トラブルのないよう地区方々の理解と行政の指導に期待する。 |
| | 安心な生活を守る買い物支援 | 支援車両の運行台数 | 健康福祉課 | 0 | 0 | | 1 | 見直しが必要と考えます。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 1.8 | 新たな具体的施策を研究してほしい。 巡回販売車等活用に期待する。 見直しが必要と考えます。 |
| | 汎用防災アプリケーションシステム構築による防災対策 | アプリダウンロード数 (累計) | 総務課 | 0 | 0 | | 3,000 | 行政デジタル無線更新と合わせてアプリを構築するよう、現在調査中です。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 2.4 | 引き続き構築に向けて努力してほしい。 |
| | 図書館建設による情報発信と広域連携 | 図書館来場者数 | 生涯学習スポーツ課 | 12,800 | 12,920 | | 25,000 | 利用者により使いやすくなるよう、改善を図っていきます。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.0 | 図書館建設に向けて村民のニーズ把握に努めてほしい。 誰でも気軽に利用できる図書館にしてほしい。 |
| ごみ処理の広域化とごみの減量化 | 焼却ごみの削減 (t) | 住民課 | 3,135 | 3,106 | | 2,900 | 近年外国人観光客の増加等から、ごみ排出量はほぼ横ばいです。H29からは清掃センターへの直接搬入ごみを指定袋方式に変更。これに合わせ更なる分別の徹底を呼び掛けます。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 2.7 | 村民へのより一層の啓発に努めてほしい。 ゴミ処理については地区との連携が必要。外国人マナーに指導が必要。 集落ごと取り組み必要。 リサイクル率の向上を願う。 | |
| | リサイクル率 | 住民課 | 21% | 22% | | 30% | リサイクル率はほぼ横ばい。今後は生ごみ堆肥化等の取り組みを強化することにより、更にリサイクル率の向上を図ります。 | | | | |
| 新たな広域連携による地域力の向上と経済・生活圏の形成 | 新たな広域連携で取り組む事業分野 | 総務課 | 0 | 13 | | 8 | 北アルプス連携自立圏事業として取り組んでいます。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 4.1 | 引き続き、増加することを期待したい。 広域連携はとても大切。なぜならお客様が目線が広域だから。 広域連携で取り組む事業も場所を分散して考えてほしい。 | |